

# 高電圧実験のレポートについて

## 1. レポートの内容

本テーマは、a)レポート見本を流用したもの でも、b)自力で全て作成したもの でも、どちらを選択しても問題ありません。下記に従って提出して下さい。

## 2. レポート見本を流用する場合について

結果、使用機器等を適宜修正して提出して下さい。本テーマではレポート作成及び採点の省力化のため、このような措置を取っていますが、基本的にレポートを作成する上でレポート全体、またはその一部を無断で使用することは禁止されていますので、十分にご承知おき下さい。

## 3. 提出方法

pdf形式レポートをGmailに添付して提出して下さい。メールの標題、添付ファイル名、提出先アドレスは、以下として下さい。また、本文にはレポート見本から何を変えたのかを書いて下さい。

- ・ メールの標題：5E\_実験レポート 2025\_高電圧実験\_X班\_XXXXX\_〇〇〇〇
- ・ 添付ファイル名：5E\_実験レポート 2025\_高電圧実験\_X班\_XXXXX\_〇〇〇〇.pdf

英数字は半角、それ以外の文字は全角として下さい。

X班は班名（半角）、XXXXXは5桁の学籍番号（半角）、〇〇〇〇は氏名（全角）です。

- ・ 標題の例：5E\_実験レポート 2025\_高電圧実験\_P班\_21999\_高専太郎
- ・ ファイル名の例：5E\_実験レポート 2025\_高電圧実験\_P班\_21999\_高専太郎.pdf
- ・ 提出先アドレス：[yokoyama@nagano-nct.ac.jp](mailto:yokoyama@nagano-nct.ac.jp)
- ・ 本文の内容の例（力を入れて修正した点があったら、更にその点を追加で説明して下さい）
  - ・ 使用機器、結果を変えた場合  
使用機器、結果を変えました。
  - ・ 結果、使用機器、結果のコメント、考察、報告事項を変えた場合  
結果、使用機器、結果のコメント、考察、報告事項を変えました。
  - ・ 全て自力で作成した場合  
全て自力で作成しました。

## 4. 提出期限

レポートの提出の提出期限は、実験終了後の2実験日以内に提出して下さい。提出期限に十分に注意して期限内に提出するようにして下さい。

なお、提出期限は大抵の場合 2 週間以内ですが、行事やテストなどで実験がない週がある場合は、2 週間より長くなることがあります。したがって、行事やテストなどを理由に提出期限を延長することは基本的ありませんので、注意して下さい。

## 5. 評価方針

評価方針は、a)レポート見本を流用した場合と、b)自力で作成した場合で異なります。

### a) レポート見本を流用したもの

できるだけ理論通りの結果が得られるように指導します。レポート見本の結果等を差し替えるべきでないに正しい内容のレポートとなるはずです。従って、整合性が取れているレポートであれば、以下の表を基本点とします（テーマ評価 85 点）。理論やレポート見本から外れた結果になってしまった場合は、適宜内容を修正して下さい。結果がレポート見本のままであったり、他の班の結果であった場合は、その内容に応じて、結果の整理、結果の考察、報告事項を 0 とします。但し、同じ班から全員同じレポートが提出された場合は、同じ結果からは同様の結論を導き出せないと見なして許容します。

評価項目	基本点	備考
実習評価	積極的な取組み	4.5 基本的に 4.5 固定です。提出遅れのレベルに応じて下がります。
	正確な実験実施	4.5 基本的に 4.5 固定です。
	班内協力	基本的に 4.5 固定です。
報告書評価	結果の整理	結果に応じてデータや考察を差し替えてあれば 4.0 です。見本に近い結果で、考察等の差し替えが無い場合でも 4.0 になることがあります。見本より十分に良い内容であれば、加点します。
	結果の考察	4.0
	報告事項	4.0
	その他体裁	4.0 レポート見本通りであれば 4.0。レイアウトが崩れている場合は減点の可能性あり。

### b) 自力で作成したもの

全体的に自力で作成しており、一定水準を越える内容のレポートであれば、実習評価は上記の表と同様に、報告書評価の 4 つの評価項目は 4~5 で評価します。自身の勉強のために、自力で作成したい場合は挑戦して下さい。

## 6. レポート見本で見てもらいたいところ

テキストの指示に従うだけでなく、工学系の一般的なレポートの書き方に従う形で作成しています。文章やレイアウト等も、読者が存在することを想定して、読みやすさや見やすさを意識しています。

学生のレポートでは、図や表の字が文章よりも非常に大きかったり小さかったりや、図や表の線などが滲んでいたり太すぎたりして非常に見にくいものが多く見かけます。本見本では、それらの見やすさも意識して文字の大きさや線の太さを調整しています。

図や表のレイアウトに関しても、一般的なレポートの書き方として、同一の章や節の中、かつ、ペー

ジの上部または下部にまとめて配置しています。ここで挙げたことは、今後もレポートの書き方の説明や指導を受ける際に、指示される内容です。学生の皆さんには、今後もレポート等を作成する機会があると思いますので、これらの点を満たしたレポートを作成して欲しいと考えています。